HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	地域経済経営ネットワーク研究センターシンポジウム，北海道仮想地域通貨の構想 ： 食・エネルギーの地産地消，インバウンド観光，および相互扶助の活性化による豊かで自律的な地域社会形成をめざす
Citation	地域経済経営ネットワーク研究センター年報，7，1-2
Issue Date	2018-03-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/71019
Type	other
File Information	003Synposium.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

地域経済経営ネットワーク研究センター　シンポジウム

北海道仮想地域通貨の構想

ー食・エネルギーの地産地消，インバウンド観光，および相互扶助の活性化による豊かで自律的な地域社会形成をめざすー

日時：2017 年 11 月 11 日　午後 2 時～ 5 時

場所：北海道大学学術交流会館　大講堂

講　演

「北海道仮想地域通貨 ー自律分散的な地域経済社会を目指してー」

専修大学経済学部 教授，北海道大学名誉教授　西 部　忠

「藩札経済にみるコミュニティ再生と金融システム ー北海道圏仮想通貨の可能性ー」

株式会社 Orb 最高事業責任者　深 津　航

「Doreming 社の日本製 FinTech によるリアルタイム給与決済システム

ー仮想通貨を使った地域貢献手当の世界的展開ー」

キズナジャパン 株式会社 代表取締役　高 崎　義 一

パネルディスカッション

パネリスト　専修大学経済学部 教授，北海道大学名誉教授　西 部　忠

パネリスト　株式会社 Orb 最高事業責任者　深 津　航

パネリスト　キズナジャパン 株式会社代表取締役　高 崎　義 一

司　会　北海道大学大学院経済学研究院 准教授　満 薗　勇

ここに掲載したものは，当日のシンポジウムを採録・編集したものである。